

さまざまなふるさとを、そのふるさとを、紹介していくページです。ふるさとを、紹介していくページです。

その15

新しい村の成立と発展

■みなさん、あけましておめでとうございませう。昨年は「ふるさと再発見シリーズ」をこ愛読いただきありがとうございます。このコーナーでは、ことしも引き続きわがふるさと岩室についてご紹介していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。ではシリーズ第十三回目の今回は、「新しい村の成立と発展」と題して、明治期の本村の様子をご紹介します。

●新しい村の成立と発展

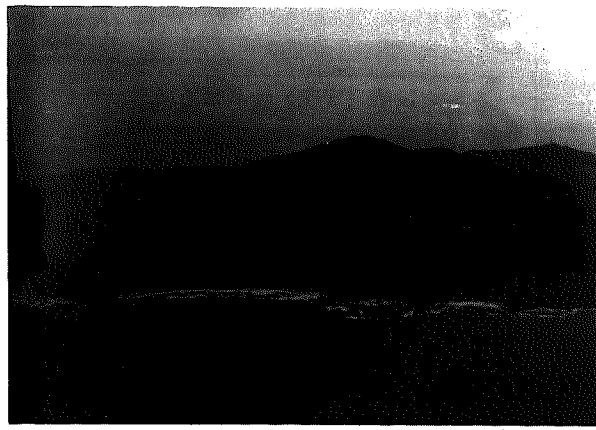
明治十一年（一八七八）七月二十二日、政府は郡区町村編成法を公布し、新潟県でも翌年四月一日実施されました。これによって、明治以降つづけられた大小区制は廃止され、新潟県には新潟区蒲原三郡（明治十九年東蒲原郡が福島県より編入され四郡となる）、頸城三郡、魚沼三郡、三島郡、刈羽郡、古志郡、佐渡三郡などの郡区ができ、岩室地方は西蒲原郡（間瀬村は二十九年まで三島郡に所属）に属しました。

明治十二年には「町村会規則」、十三年には「区町村令法」が制定され各地で町村会が生まれ、岩室地方では同十三年一月和納村で町村議員が選出されました。

しかし、小村では戸長、村会という機構を画一的に設けることの弊害もあり、連合戸長役場、連合町村会議を設置するなどの過程を経て、明治二十二年六月町村合併を推進しました。

この結果、岩室地区には新たに石瀬村・船

越村・岩室村・鴻ノ巣村・間瀬村が誕生、各村に村長、村会、村役場がおかれることになりました。村会は、村の決議機関としての性格・権限も強化されるとともに、村会議員の選挙は納税額によって選挙、被選挙権が与えられ、一戸をかまえた男子二十五歳以上で、



▲時代の夜明けとともに変遷してきた岩室村

国税二円以上納付するものが対象にされてい

明治三十四年八月から、新潟県は独自に町村合併をはじめ、その結果、西蒲原郡は八十町村が三十七町村になり、岩室関係では、岩室村・石瀬村・船越村が合併して岩室村となり、和納村に鴻ノ巣村から原、本町村が合併し和納村となり、間瀬村は従来どおり、こ

の三村は戦後の町村合併までつづいていきま

●伊藤佐武郎と自由民権運動

明治政府が強引に諸政策を断行しつつあったころ、自由民権運動が全国に波及し、村々の豪農層が多く参加しました。岩室地方で熱心はこの運動をすすめたのは、和納にあつて明治初年以降、庄屋、戸長、副大区長などをつとめ大河津分水工事、地租改正事業、小学校建設などにおいて村の指導者として活躍していた伊藤左武郎でした。

それに、明治期に岩室地区から選出された県議は、伊藤左武郎が明治十六年から十八年までの二期つとめたただけでした。

●村の運営と財政

明治十二年（一八七九）五月、郡区長、戸長の職務概目に関する通達により「県令一郡区長一戸長」の地方制度が確立、これによって「県会一郡区内総町村連合一村会」の組織も整備されたといわれます。更に、明治二十二年の市制、町村制の実施により市町村長がおかれ、市町村会も市町村の決議機関となり地方制度が確立しました。

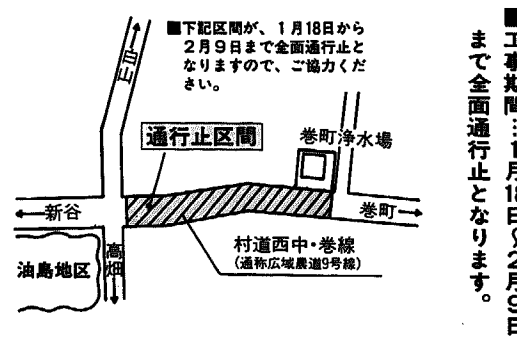
当時の町村長は任期四年の名譽職で、町村会において年令満三十歳以上で選挙権を有する者から選挙することになっていました。また、議員も名譽職で任期は六年、三年ごとにその半数が改選され、いずれも報酬はうけていませんでした。（今回ご紹介した内容は、岩室村史から抜粋して掲載したもので、詳しくは、岩室村史をご覧ください。）

工事のため全面通行止となります

今月十八日から二月九日まで、村道西中・巻線（通称広域九号線）が工事のため全面通行止（左図）となります。みなさんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力を願います。

なお、迂回路については、表示板に従ってください。

■工事期間：1月18日～2月9日
まで全面通行止となります。



お詫びします

広報12月号15ページのおくやみ欄に、故若杉ユリ子さん（平成4年10月24日没・和納11区）の氏名が欠落していましたこと、ここに深くお詫び申し上げます、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

■広報いわむろ 第三六九号 平成五年（一九九三年）一月一日発行（毎月一回一日発行）

■発行 岩室村役場 ■編集 総務課 ■新潟県西蒲原郡岩室村大字西中八六〇（〒953-1002） ■電話 〇二五六一八二四二（代） ■印刷 北洋印刷